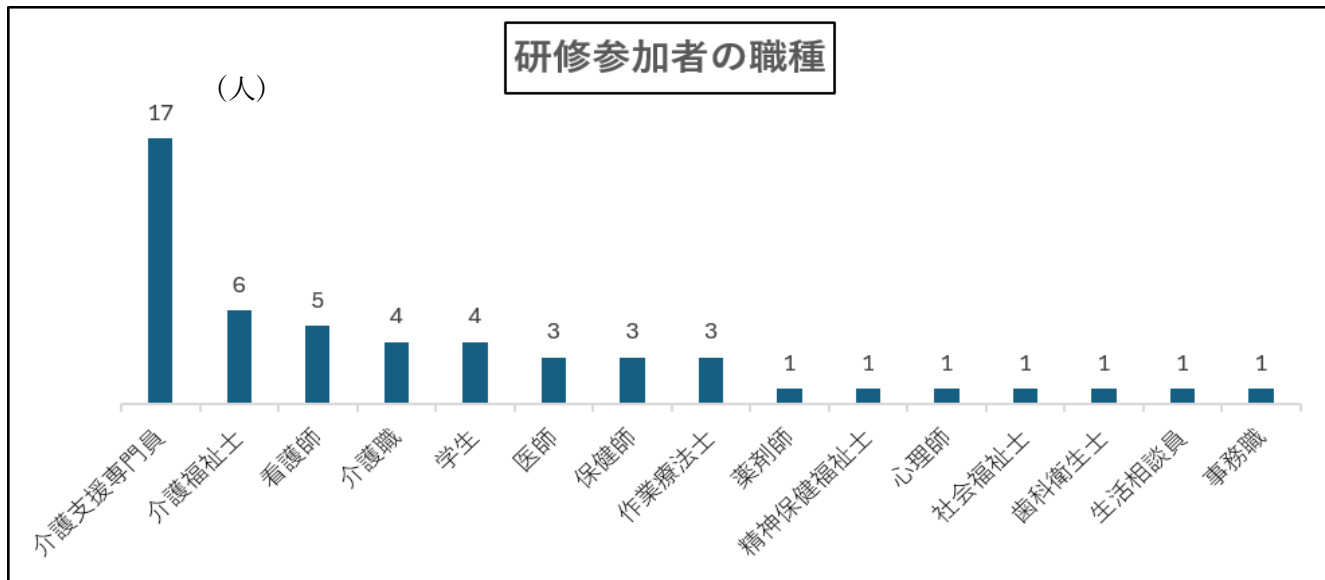


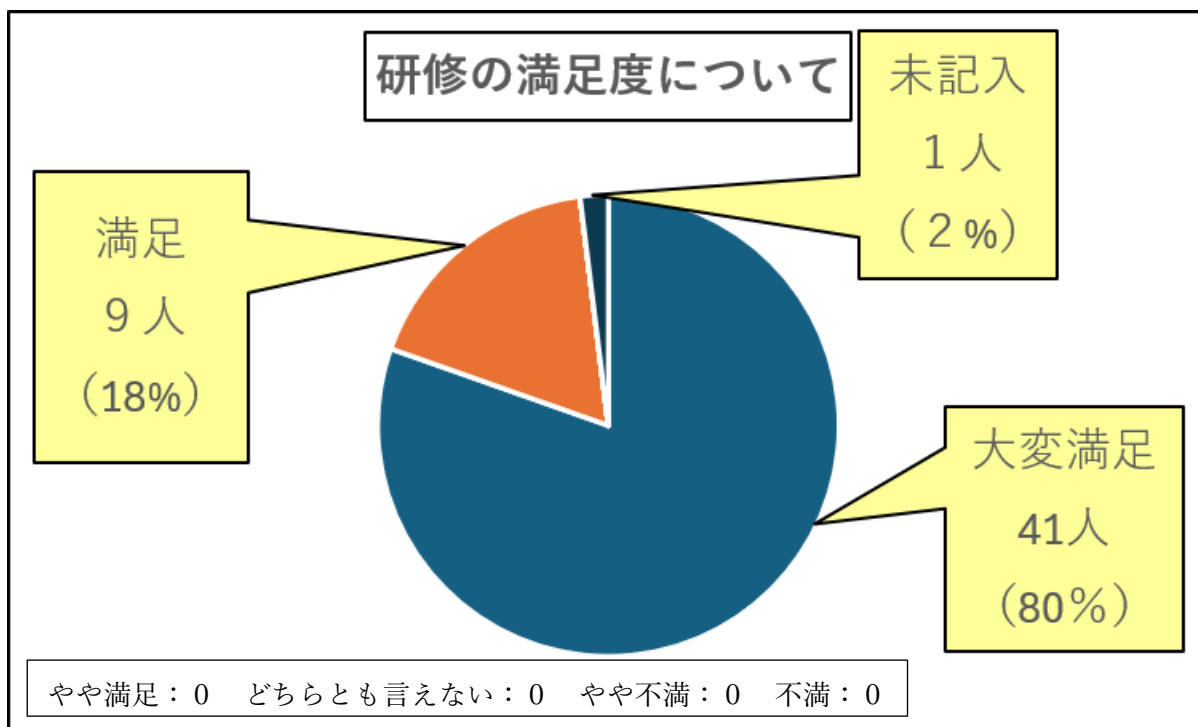
# 令和8年度 認知症研修会 研修後アンケート集計結果

◆参加者：52人



◆アンケートの回答者：51人

## 1 研修の満足度について



## 2 研修を受講しての気づき、今後に活かしたいこと、感想など

- ・認知症の役をやってみて、感じ方や見方が変わった。
- ・その方らしさを大切にしつつ、心に寄り添う支援をしたい。否定せず共有する。身体を動かして良かった。
- ・相手の立場に立って考える。思いやるというのは認知症の有無にかかわらず必要なことだと思った。「人間味」を大切に、これからの支援に活かしたい。
- ・楽しかった。市民向けのワークショップもして欲しいと思った。
- ・本人にとっても周囲の方にとっても「受け止める」という関わりは大切だと感じた。どう演じることが良いか考えるきっかけになった。
- ・「認知症には寄り添う」と学んできて、頭では分かっていたが、実際に体験してみて、自分が今していることは本当に寄り添えているか再確認することができ、寄り添うことの大切さに気付くことができた。
- ・実際に認知症の体験をしてみて接し方を改めて知ることができた。今後仕事で活かしていきたいと思う。
- ・改めて演じることにも必要で大切なことであると思った。現場に否定しない声かけを改めて伝えたい。
- ・認知症の人の役をやったことで、これから認知症の人の気持ちを思いやることができるようになるのではないかと思う。
- ・認知症の利用者の世界を楽しむことをしてみようと思う。
- ・「できない」ことの受け止め方が大切だと思った。あたたかい気持ちになれた。

- ・ パーソンセンターケアの確認ができてよかった。楽しかった。
- ・ 実際に体験すること、目で見ることとてもわかりやすく楽しんで勉強することができた。施設に持ち帰ってみんなに共有し、良い介護をしたい。
- ・ できないことが良いことになりうる。こんなもんかと笑って受け止める。否定せず肯定する大切さ。わかっていることでも再確認できて良かった。楽しい研修だった。
- ・ 否定せず、相手の話を聞きたいと思った。
- ・ 認知症の方の話を否定せずに聞いてあげる事が大切であると思った。
- ・ 実際に演じてみることで気づくことも多く、感じることもあった。利用者を置き去りにしないケアをしていきたい。
- ・ 認知症の人は無視されると辛いという気持ちが分かった。頭では理解しても、楽しい場面で違うことを言われたら優しくできないこともあるので気をつけていきたい。
- ・ 演じるって、改めてすてきだなと思った。
- ・ どんなに忙しくてもその方の話に耳を傾け、否定せず、肯定&プラスのことを言って差し上げることをやっていこうと思う。ハッピーな気持ちにみんながなれるよう日々頑張っていこうと思う。
- ・ 女優になるということは介護職になった時に指導を受けた。実際相手を受け入れることでお互いに信頼感が築け、様々なことがスムーズに進むと感じている。今回このような機会に参加させてもらい、ますます確信した。施設に帰ってスタッフ一同で共有、実践していこうと思う。
- ・ 利用者さんに寄り添っているつもりになっているところもあったと思った。実際体験

することで普段の自分の関わりを見直すことができた。

- ・相手の言うことを受け入れる事の大切さを改めて感じた。上手に受け入れ、対応を工夫することでその方の周辺症状が落ち着く方向になれば利用者も家族も良いので。
- ・実体験をすることで分かることがたくさんあることがわかった。
- ・いつもの忙しさに声かけのことなど考えずに対応することがある。声かけ一つ一つを大切にしていきたい。
- ・客観的に介護者と介護される側の想いを知ることができた。認知症のある方への自分の接し方を再確認できた。今日学んだゲームの中には職場の多職種連携における他者とのコミュニケーションを良くするものにとっても参考になり、院内でとり入れたいと思った。
- ・これまでの振り返りができた。認知症の方に穏やかに接していきたい。職場で共有したい。
- ・仕事上忙しく否定をしてしまっていることに気づいた。これからは受講のことを思い出しながら気を付けたいと思う。ゲームはとても楽しかったけど、考えながらだとなかなか言葉が出てこず難しかった。
- ・認知症の患者さんは孤独であり淋しがりの生き物である。この研修を受けて患者さんの接し方や関わり方をもう一度考えて、患者さんが安心して生活が出来る様に援助していきたい。
- ・最初のゲームがとても楽しかった。他の参加者と交流できた。ワークショップでの劇が最初は恥ずかしかった。やるにつれておもしろかった。認知症の見方がいろいろな

ワークショップで勉強になった。

- ・ 普段の現場での声かけを、本日やった「YES and」で対応するとスムーズな声かけができるのではないかと思うし、周りにいる職員や家族にも悪い印象は持たれにくいのでとても良いと思った。
- ・ 仕事で認知症の方と関わる時に仕事を優先してしまうこともあったが、まずは話を受け入れて患者様の不安や状況に寄り添えるような人になりたいと思った。
- ・ 自分が相手を説得しているつもりでも、その人は嫌な気持ちになることがあると気が付いた。無意識に否定してしまっていることがあるので、言葉を選びながら患者様の対応をしていきたいと思った。
- ・ 忘れてしまうことが多くなっても、今を共に楽しむということを入れてリハビリを行って行きたい。
- ・ 2時間の中でたくさん学びがあり先生のお話やゲームにどんどん引き付けられた。いったんこちらの都合を置くことの大切さとちょっと好奇心を持って接すること、少しの余裕をもって日々やっていけたらと思う。
- ・ 楽しく介護することが大切だと思った。「YES and」をしっかり実践したいと思う。
- ・ 受け入れる事の大切さが良くわかった。できていないことも認識できた。もっと演じたいと思った。
- ・ 今日の研修を通して、自分の対応の仕方、余裕がないと出来ないことがたくさんあると思った。もし自分が認知症になったらもっとこうして欲しいなど要望が出てくるかもしれないと思う。自分になったらということを考えながら仕事に取り組みたいと思

った。

- ・楽しく勉強になった。
- ・今の瞬間を大切に。認知症の方に生きていて良かったと思ってもらえるような、お互い幸せになれるような介護をしていきたい。
- ・頭では分かっているけど利用者を否定してしまうこともあったと反省し、今後は利用者と一緒に楽しんでいこうと思った。とても楽しい研修だった。
- ・とてもよかった。体を使った遊びでは歳をとっても楽しめるのでいい。楽しいとその時だけでも幸せだと思ってもらえればいいと思う。今日の話はとても良かった、感謝。
- ・明日現場で生かせる内容だった。
- ・否定せず受け入れることを分かっているけどできていなかったと思った。職場でもスタッフに感想を伝えたい。私の父は体の元気な認知症でとてもとても困っている。否定せず受け入れ、寄り添っていききたいと思う。

#### ★学生の方々からの感想

- ・認知症というものを自分の中でどのようにとらえられるかで、関わり方が良くなるということを学んだ。
- ・遊びを通して認知症の方が否定、無視された時にどう思って、そこからどんな行動をしまうのか。肯定された時はどんな気持ちで話しているのか。とても実感できる体験となった。今後は認知症の方が見えている世界を汲み取って寄り添って接していきたい。
- ・なぜ肯定したかわかりが大切なのかわかった。関わり方の例が知れて、今後活かして

いきたい。

- ・アルバイトで認知症の方との関りが多くあり、無意識に否定を行っていたと気付いた。

認知症の方が望んでいることをすべてかなえることは難しいが、肯定を行うことや提案を受け入れることはできるので、自分も相手も気持ちよく過ごせるように視点を変えて関わることも重要だと考えた。今日の講義で認知症の方の常識と自分の常識は異なると再認識することができたので明日からは自分の行動に活かしていきたい。

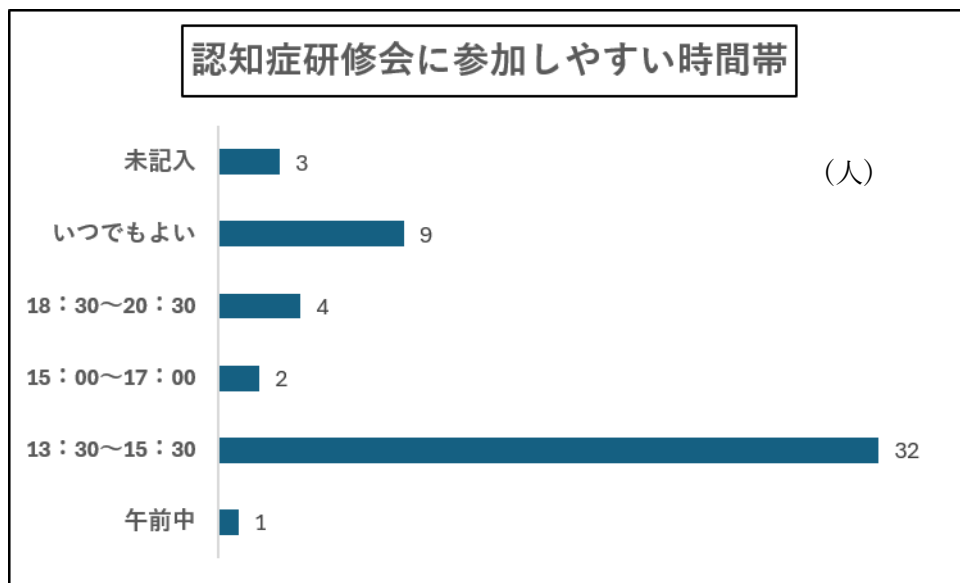
### 3 今後の「認知症研修会」で学びたいこと、やってみたいこと

- ・また、こういうワークショップがしたい。
- ・当事者や家族と楽しめる研修会(認知症カフェ以外)であれば参加してみたい。
- ・今日のように体験したい。
- ・今回の様な研修会で、全員参加で。講義ばかりではなくて演技するのも良い。
- ・否定的な声かけをする職員に対してどう対応したらいいか。
- ・今日の様なワークショップがとても楽しかった。
- ・今回のワークショップを各施設でできれば。
- ・体を使う遊びやゲーム等
- ・ワークショップ形式で今後もして欲しい。介護職でなくてもやりやすかった。
- ・講師の先生の話はずっと聴く研修もいいが、今回の研修のようにグループワークやワークショップを通して学ぶのもすんなり頭に入ってくるので、これからも続けて欲しい。
- ・体を使った遊びリレーションをもっと学んでみたい。

- ・具体的な入浴誘導、排泄誘導、食事介助のポイントを知りたい。
- ・認知症のことをもっと深くまで知っていきたい、学びたいと思った。
- ・組織でどのように関わっていくのか。
- ・関わる際のポイント
- ・家族への関わり方
- ・菅原先生、また新見に来てくださいね。

#### 4 認知症研修会の開催時間について

◆学生4人を除いた、47人の回答にて集計（複数回答者あり）



以上

☆アンケートにご協力下さりありがとうございました。